

現在の景気：県内景気は、緩やかな持ち直し傾向が続いている。非製造業では、新型コロナウイルスの影響が減衰する中で、観光や飲食などの対面型サービス業の回復が続いているほか、自動車や百貨店の衣料などの販売も上向いている。製造業では、輸出回復などに支えられた改善基調をなお維持している。この間、建設需要は、交通インフラ整備や物流施設などの官民プロジェクトの進展などを背景に総じて底堅く推移しているが、建設コスト上昇等から住宅着工にやや陰りがみられる。

3か月程度の見通し：非製造業は、物価上昇に伴い消費マインドがやや慎重な状態が続いているが、行動制限の緩和が維持される中で、対面型サービス業を中心に持ち直しの動きが続くとみられる。この間、製造業では、標準シナリオでは改善基調が維持される見込みだが、物価上昇や金融引き締めなどに伴う海外経済の不安定化リスクを引き続き注視する必要がある。

個人消費：①上向き。②2月の県内百貨店（存続店ベース）の売上は、前年同月比17.8%増と2か月連続で前年を上回った（19年比では5.7%減）。新型コロナの影響が薄れて来客数が回復し、バレンタイン商戦などが盛況だった。3月入り後も、気温の上昇や卒業式や入学式などの催事回復を受け、衣料品の売上が伸びている。2月の自動車登録台数は、部品調達難の緩和などから、同15.3%増と6か月連続でプラスとなった（19年比では13.2%減）。一般乗用車（前年同月比19.7%増）、軽乗用車（同11.0%増）ともに増加した。

住宅建築：①鈍化。②2月の新設住宅着工戸数は前年同月比0.5%減少し、2か月連続で前年を下回った。分譲住宅（同19.8%増）は増加したものの、貸家（同19.0%減）、持家（同5.3%減）が減少した。

設備投資：①堅調。②国土交通省の「建設着工統計」（非居住用）によると、2月の工事床面積（年度累計）は前年度比23.1%減少し、工事予定額も同14.7%減少した。千葉経済センターによる県内企業194社アンケート調査（1月実施）では、22年度の設備投資計画（12月末時点）は、期初計画比（全産業）では17.4%減の減額修正となったが、21年度実績額を67.0%上回っている。

公共工事：①増加。②2月の県内公共工事請負額（年度累計）は、前年同月比12.0%増加した。独立行政法人等（同119.0%増）、国（同15.1%増）、市区町村（同3.3%増）、県（同1.3%増）のすべてで前年を上回った。

輸出：①増加基調。②2月の成田、千葉、木更津3港合計通関輸出額は、前年同月比3.6%増と2か月ぶりに増加した（19年比では31.9%増）。千葉港が、鉄鋼（前年同月比35.0%減）や石油製品（同8.9%減）などの減少により、同4.0%減と2か月ぶりに前年を下回ったものの、成田空港（同4.0%増）および木更津港（同12.0%増）が2か月ぶりに増加した。成田空港では、通信機（同23.9%増）や医薬品（同11.4%増）が増加し、木更津港では、自動車（同15.6%増）が増加した。

生産活動：①減少。②1月の県鉱工業生産指数（季調済）は、87.8（前月比0.6%低下）と6か月連続で低下した。化学工業（同7.6%上昇）などは増加したが、金属製品工業（同6.9%低下）、食料品工業（同3.2%低下）などが減少した。

観光：①回復。②県内の観光・宿泊施設の入込は、国内個人客を中心に持ち直しが続いている。また、成田周辺の宿泊施設では、インバウンド客の回復が進んでいる。千葉県は、3月31日を期限としていた全国旅行支援の千葉版「千葉とく旅キャンペーン」について、6月30日まで延長（4月29日から5月7日は除く）することを決定した（3月15日）。県内では、グランピング施設のオープンが相次いでいる。ゴルフコースの一部を利用した「マザー牧場グランピング Green Base」（富津市）や廃校跡地を活用した「TACO GLAMP THE MEXICO」（多古町）がオープンした。

雇用情勢：①改善。②2月の有効求人倍率（季調値）は、前月比0.04ポイント改善の1.06倍となった。有効求職者数（同0.5%減）が減少した一方、有効求人数（同4.0%増）は増加した。

【トピックス】

- 成田空港周辺地域における土地利用の規制緩和方針が示されたことを受け、オーストラリアの物流デベロッパー「グッドマングループ」が多古町に約70haの国際物流拠点を開発することを発表した（3月16日）。成田国際空港C滑走路が完成する29年3月末の稼働開始を目指している。
- JR京葉線の新習志野駅－海浜幕張駅間に、県内では25年ぶりとなる新駅「幕張豊砂駅」が開業した（3月18日）。
- 成田国際空港株式会社は、旅客ターミナルの統合や新たな航空貨物地区の整備を骨子とした「新しい成田空港」構想の中間とりまとめを発表した（3月30日）。新旅客ターミナル（現在の第2ターミナルの南側）および新貨物地区（延伸予定のB滑走路と新設予定のC滑走路の中間地点）の候補地が明らかとなった。